

Hitachi Living Systems

取扱説明書

家庭用CS・BS・U・Vブースタ

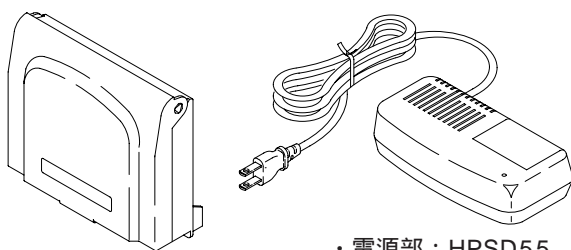
HDB-SW33 (CS・BS・UHF・VHF増幅 33dB型, DC + 15V低電圧方式)

保証書付
(裏表紙の下側が保証書になっています。)

お買いあげいただき、ありがとうございました。

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」と「保証書」そして別紙の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

外 観



・ブースタ本体
(屋外・屋内共用)

・電源部：HPSD55
(屋内専用)

付属品

ケーブル防水キャップ... 4ヶ

電源部の壁掛け用木ネジは、電源部底面に装着してあります。

特 長

BS・CS2150MHz対応

BSデジタル放送・110度CSデジタル放送(右旋偏波受信システム)に対応するCS2150MHz広帯域ブースタです。

かんたん調整(適正出力お知らせ機能)

過入力による画像の乱れをお知らせする調整ランプをFM・VHF L、VHF H、UHF帯域に搭載しており、レベル調整を容易に行うことができます。(CS・BS帯域には調整ランプはありません)

広範囲な調整機能

帯域ごと〔FM・VHF L、VHF H、UHF〕に独立した3つの利得調整器とCS・BS入力アッテネータにより、さまざまな電波状態に対応した調整ができます。

FMカットスイッチ付き

FM放送の影響でテレビ画面に縞模様が出る場合、FM放送をカットすることができます。

UV入力切換スイッチ付き

スイッチ切換えによりUV混合入力・UV別々入力のどちらでも使用できます。

ブースタ本体 電源ランプ付き

ブースタ本体の電源ランプにより、設置時の動作確認が容易に行えます。

使用上のご注意

ブースタの設置工事には技術と経験が必要です。販売店や工事店にご相談ください。

このブースタには付属の電源部：HPSD55以外は使用しないでください。

付属の電源部：HPSD55は本器専用です。他のブースタ電源部として使用しないでください。

機器のケーブル接続は、間違えないように、正しく確実に行ってください。

ブースタ本体と電源部間およびCS・BSアンテナとブースタ本体間の同軸ケーブルには、電流が流れます。

- ・同軸ケーブルは、無理に曲げたり、キズをつけたりしないでください。
- ・分配器・壁面端子など、ブースタ本体と電源部間に接続する機器は必ず電流通過形のものを使用してください。
- ・電流通過形以外の機器を使用したり、同軸ケーブルまたは同軸ケーブルとの接続部がショートすると、過電流保護回路が働き電流が遮断され、ブースタ本体・電源部の電源ランプが消えます。この場合、電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜き取り、配線・接続のチェックをして原因を取り除いてください。電源スイッチをONにすると回路は自動的に復帰します。

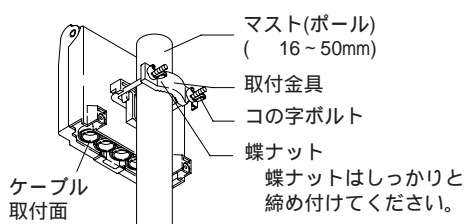
電源部は屋内専用です。屋外や水のかかる場所に設置しないでください。

また、電源部の上に物をのせたり、熱器具のそばなど高温になる場所に設置しないでください。

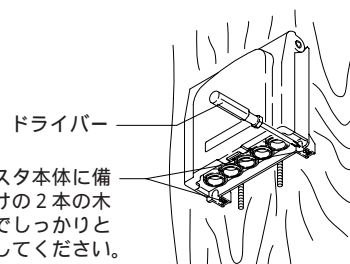
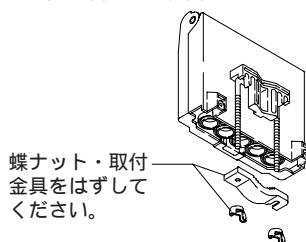
各チャンネルの入力レベル差が大きい場合、調整ランプが正しく動作しないことがあります。調整終了後、テレビ画面で最適な画像になっているか確認してください。

ブースタ本体の取り付け方法

マスト(ポール)へ取り付ける場合



壁に取り付ける場合



警告

必ずケーブル取付面が下側になる様、まっすぐに取り付けてください。雨水などの浸入により、火災・感電の原因になります。
機器の質量(重量)に耐えられる場所に設置してください。落下によりケガ・機器の破損の原因になります。




Hitachi Living Systems


家庭用ブースタ 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保存してください。


ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様(自分自身)や他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


お守りいただく内容の種類を絵表示で区分し、説明しています。


 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


絵表示の例

 記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。

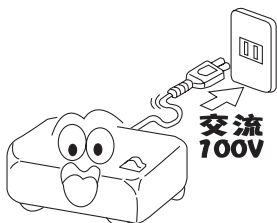
 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。


 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。

警告

 この製品は日本国内専用です。表示された電源電圧以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。


禁止



 雷が鳴りだしたら機器・電源コード・接続ケーブルに触れないでください。感電の原因となります。


接触禁止

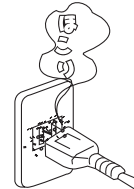


 煙が出る、変なにおいや音がする時は、すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグを抜く



 電源プラグは、刃や刃の取り付け面にゴミやほこりがつかない様、コンセントにしっかり差し込んでください。また、ゴミやほこりが付着している場合は、きれいにふき取ってください。火災の原因となります。ゴミやホコリをふき取る場合は電源プラグを抜いてからふき取ってください。



警告



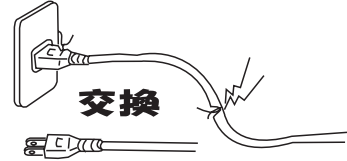
禁止

電源コードは傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っばったり、束ねたまま使用したりしないでください。また、加熱（熱器具に近づける）したり、重いものをのせたり、はさんだりしないでください。電源コードが破損して、火災・感電の原因となります。



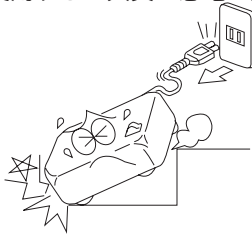
電源プラグを抜く

電源コードや電源プラグが傷んだら（芯線の露出、断線など）すぐにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



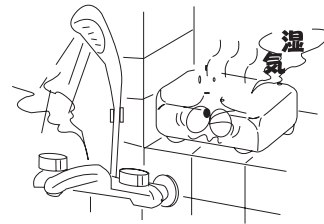
電源プラグを抜く

機器を落としたり、破損した場合は、すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



禁止

屋内用機器は屋外に設置したり、浴室や流しの近くなど水のかかる場所に設置しないでください。機器内部に水が入ると火災・感電の原因となります。



禁止

機器の上には水の入った容器や物は置かないでください。機器内部に水が入ると火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が機器の上に乗らないように注意してください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因となります。



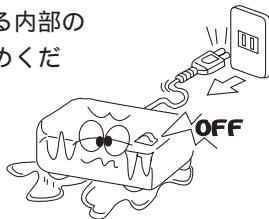
禁止

機器の内部に金属類や燃えやすいものなど異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。



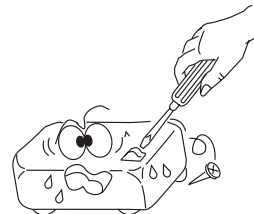
電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったら、すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による内部の点検はおやめください。



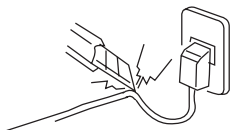
分解禁止

機器の分解・改造はしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店に依頼してください。



禁止

同軸ケーブルにはテレビ電波以外に電流が流れている場合があります。同軸ケーブルを無理に曲げたり傷つけたりしないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

湿気や油煙の多い場所（加湿器・調理台のそばなど）やほこりの多い場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

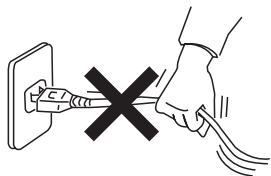


警告



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないでください。電源コードが傷つき火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

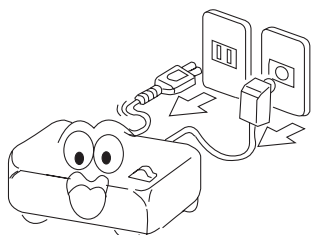


注意



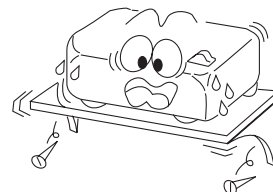
電源プラグを抜く

設置する時、移動する時、お手入れする時は電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



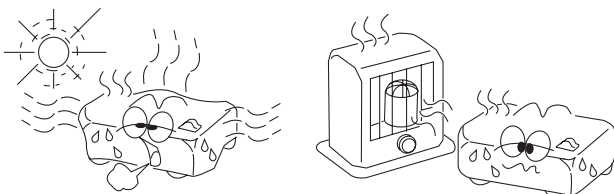
禁止

傾いた場所や不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。機器の重さに耐えられる場所に設置してください。



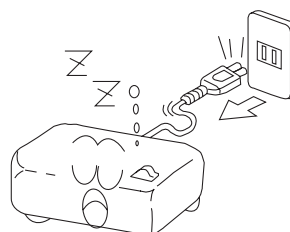
禁止

直射日光の当たる所や、熱器具のそばなど温度の高い所には設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



禁止

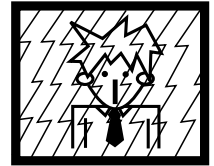
機器の通風孔をふさがないでください。また、以下の様に設置しないでください。機器内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。

- ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
- ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- ・新聞紙や雑誌などを上に置かないでください。
- ・じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- ・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。



ブースタは正しくお使いください。

ブースタを正しく取り付けないと、ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなります。
(このような現象を発振障害といいます。)



使用例

VHFアンテナ・UHFアンテナ・ブースタ部はそれぞれ1m以上離してください。

同軸ケーブルは必ずスタンドオフを使って固定し、マストから離してください。

直付機器の場合、入出力端子と同軸ケーブルの接続不良も発振の大きな原因となります。

接触不良 **ショート** **断線**

外れ ネジのゆるみ 編組と芯線のショート 芯線の断線

ケーブルの配線も発振の大きな原因となります。

- ・入力と出力の配線は近づけないでください。
- ・出力側のケーブルは必ず同軸ケーブルを使用してください。
- ・ケーブルは束ねたり、ブースタに巻き付けたりしないでください。
- ・同軸ケーブルは極力短く配線し、スタンドオフで固定してください。(同軸ケーブルが風などでマストに触れないようにしてください。)

巻き付けしないでください

ケーブルを束ねないでください

必要以上、長くしないでください

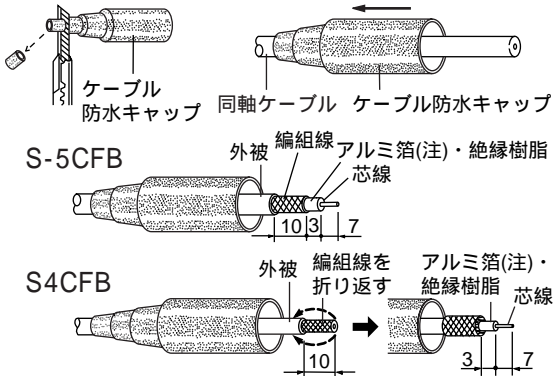
入力側と出力側のケーブルは、2以上離れるように配線してください。

ブースタ部にUV入力切替スイッチが付いている機器に、VHFまたはUHFアンテナのみ接続するときは、入力切替スイッチを別々側にしてください。混合側で使用すると発振の原因となります。

UHFアンテナ 電源部 テレビ UV入力切替スイッチ 混合 別々 出力

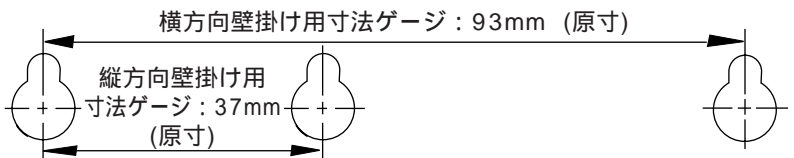
同軸ケーブルの加工方法

良好な画質を得るために、S-5CFB・S4CFBなど低損失同軸ケーブルのご使用をおすすめします。ブースタ本体を屋外に設置する場合は、ケーブル防水キャップを同軸ケーブルの太さに合わせて切断しあらかじめケーブルに通しておいてください。

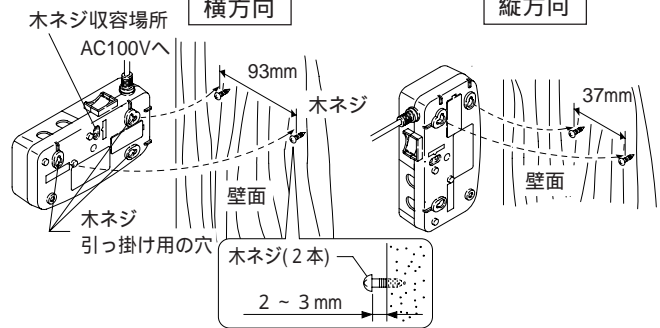


- ・ケーブルの加工の際、芯線・編組線を傷つけない様注意してください。
- ・芯線に付着物（絶縁樹脂の被膜等）が残っている場合は、必ずきれいに取り除いてください。
注：図のアルミ箔部分は、同軸ケーブルの種類によってはアルミ箔がないものもあります。電源部も同様の寸法で加工してください。

電源部の設置方法



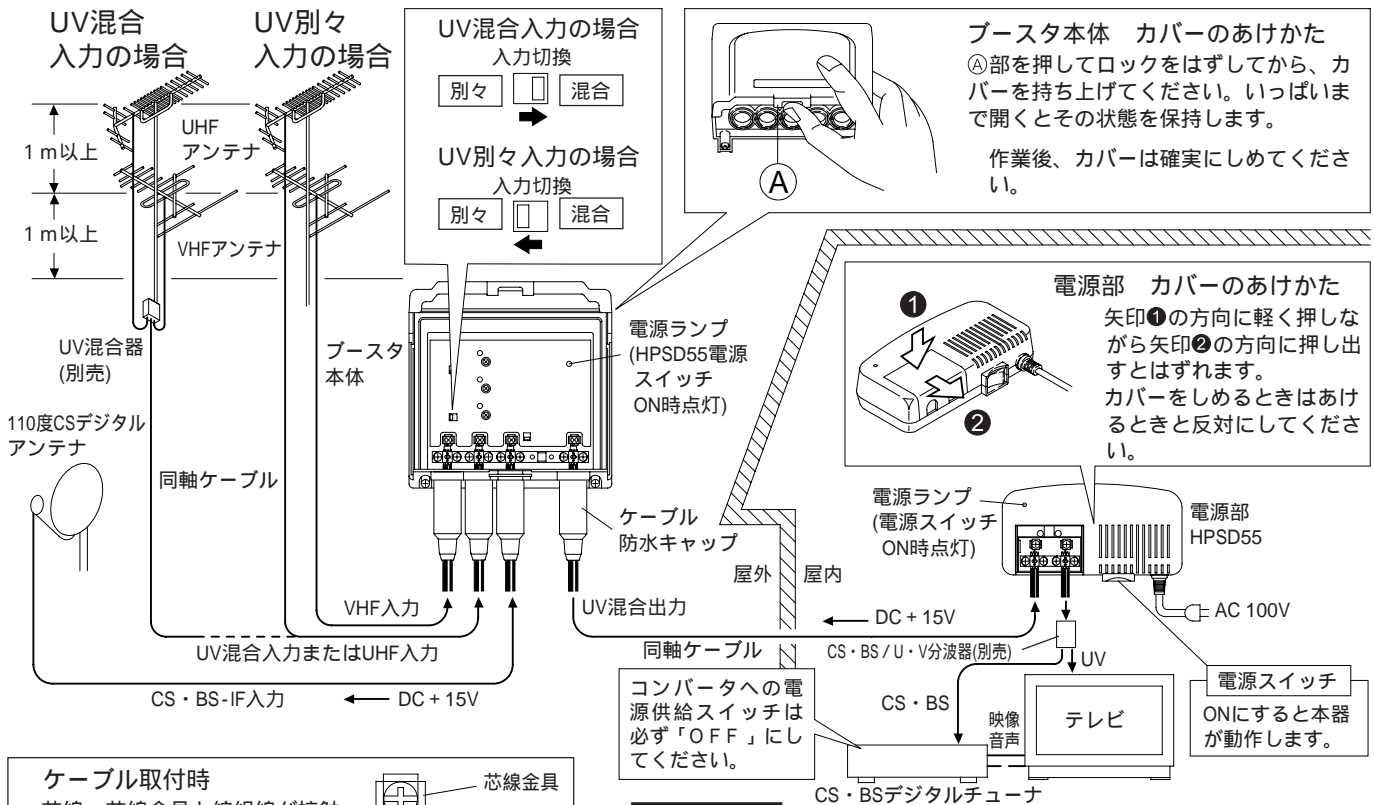
電源部は、置いて使用するだけでなく、壁に掛けて使用することもできます。



壁掛け方法

電源部底面の木ネジ収容場所から、木ネジ（2本）を取りはずしてください。ドライバーで反時計方向に回すとはずれます。横方向または縦方向の壁掛けがえらべます。寸法ゲージを用いて、木ネジ（2本）を壁面にしっかり取り付けてください。2本の木ネジに電源部を引っ掛けてください。

使用例



ケーブル取付時
芯線・芯線金具と編組線が接触していないことを確かめてからケーブルを固定してください。（接触している場合、電源のショートやテレビの映りが悪くなります。）
ネジの適正締付トルク：0.49～0.59N・m（5～6kgf・cm）

⚠ 注意
配線工事がすべて終了してから電源プラグをACコンセントへ接続し電源スイッチをONにしてください。
感電の原因になることがあります。

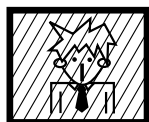
⚠ 警告
ブースタ本体を屋外に設置する場合は、以下の内容をお守りください。雨水などの浸入により、火災・感電の原因になります。

- ・ブースタ本体のカバーは作業後、確実にしめてください。
- ・同軸ケーブルには、必ずケーブル防水キャップを取り付けてください。またVHF入力端子を使用しない場合、接栓キャップを外さないでください。
- ・ケーブル防水キャップ・接栓キャップは根元までしっかりと差し込んでください。

各部の説明・調整方法

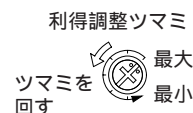
FM・VHF (L)、VHF (H)、UHF

調整ランプが点灯している場合 (テレビ画面にビート縞が発生します)



ビート縞

- 調整ランプが点灯している帯域の利得調整つまみを最小方向に回し、調整ランプが消える位置で止めてください。
- FM・VHF Lの調整ランプが点灯している時、FM放送を受信しない場合はFMカットスイッチを「カット」側にしてください。ランプが消えない場合は利得調整つまみを最小方向に回し、調整ランプが消える位置で止めてください。

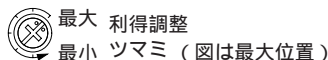


調整ランプが消灯している場合



適正

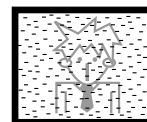
- 利得調整つまみが最大位置にあることを確認してください。



適正レベルの場合、調整ランプは点灯しません。

ご注意

調整ランプが消えた状態で利得調整つまみを最小方向に回すと利得不足によるスノーノイズが発生する恐れがあります。



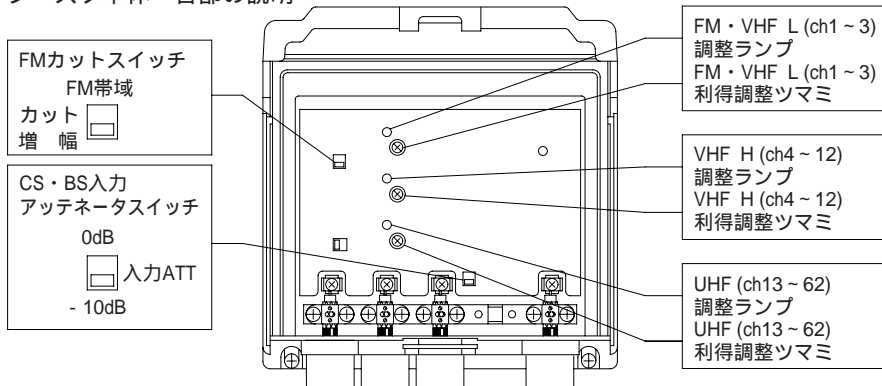
スノーノイズ

各チャンネルの入力レベル差が大きい場合、調整ランプが正しく表示しないことがあります。調整終了後、テレビ画面で最適な画像になっているか確認してください。

CS・BS

CS・BSアンテナ・ブースタ間の損失が多い場合など、ブースタへの入力レベルが低い場合はCS・BS入力アッテネータスイッチを「0dB」側にしてください。CS・BS帯域に調整ランプはありません。

ブースタ本体 各部の説明



こんな症状の場合は (VHF・UHF)

症状	原因	対策
テレビ画面に何も映らない	誤接続 配線のショート・断線	各アンテナからの入力ケーブル、およびUV入力切替スイッチの位置を確認してください。 電源スイッチON時、電源部のランプが消えている場合はショートが考えられます。電源部のランプが正常でブースタ本体のランプが消えている場合は本体-電源間ケーブルの断線や、電源-本体の間にある機器の電流通過端子に接続されていない場合があります。配線・接続を確認してください。
画面にスノーノイズが出る	アンテナからの入力レベルが低い	利得調整器つまみを最大位置まで回します。調整ランプが点灯した場合、つまみを最小方向に回し、調整ランプの消える位置で止めます。画面に改善がない場合はアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
利得最小でも調整ランプが消えない	強電界地域における過入力	本器の適正入力レベルを越えております。ブースタの前にアッテネータ (別売) を入れてください。
調整ランプが消えているのに画面にビート縞が出る	各チャンネルの入力レベル差が大きい	ビート縞の出ているチャンネルの利得調整つまみを最小方向に回して良好な画面になるよう調整してください。画面に改善がない場合は、アンテナの向き・高さ・位置を調整してください。
ワイパー現象 (テレビ画面上で帯が移動する状態) やゴーストが出る	他の電波との混信 建物などによる電波の反射	本器では混信やゴーストによる障害は改善できません。 他の電波を避けるようアンテナの向き・高さ・位置を調整してください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害 (硫化ガスなど) や異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外 (例えば業務用等) への長時間使用及び車輛 (車載用を除く)、船舶への搭載に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (ト) 受信不能あるいは故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
- 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。

- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、ご相談窓口一覧表をご覧ください。お近くの窓口にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。保証期間経過後の修理について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

標準仕様

ブースタ本体

項目	仕 様			
周波数帯域 (MHz)	FM・VHF (L) (FM.ch1~3) 76~108	VHF (H) (ch4~12) 170~222	UHF (ch13~62) 470~770	CS・BS-IF 1000~2150
利 得 (dB)	26~35	26~35	26~35	22~32
定格出力レベル (dB)	105 (2波)	105 (5波)	111 (2波), 103 (7波), 102 (9波)	100 (24波)
利得調整範囲 (dB)	0 ~ -20 (連続可変)			
入力アッテネータ (dB)	-			
雑音指数 (dB)	4以下			0、-10
適正入力レベル (dB)	40~72 (利得最小時60~92)	40~76 (利得最小時57~87)	40~75 (利得最小時50~85)	
入出カインピーダンス ()	75			
V・S・W・R	3.0以下			
使用温度 ()	-20 ~ +40			
電源電圧/電流	DC + 15V 0.23A (4W送電時0.5A)			
外形寸法 (mm)	133 (高さ) 148 (幅) 59 (奥行)			
質 量 (g)	360			

電源部 (HPSD55)

項目	仕 様
電 源 (V)	AC 100 (50/60Hz)
消費電力 (W)	10
出力電圧 (V)	DC + 15
出力電流 (A)	0.5
入出カインピーダンス ()	75
挿入損失 (dB)	VHF・UHF: 2以下 CS・BS-IF: 3以下
外形寸法 (mm)	37 (高さ) 146 (幅) 74 (奥行)
質 量 (g)	240

アフターサービスと保証

保証書と保証期間について

このブースタには保証書が付いています。

保証書は、販売店で所定の事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容を確認いただき、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から6ヵ月間です。

保証期間中でも取扱説明書記載外の使い方など保証規定外の使い方については有料になることがありますのでご了承ください。

保証期間経過後の修理については、販売店へご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11

FAX 0120-3121-34

フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口

家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011-833-5088	札幌市白石区東札幌2条4-1-10
東北地区	022-232-5088	仙台市宮城野区扇町1-1-45
関東・甲信越地区	03-3834-8588	台東区東上野2-7-5 (日立家電上野ビル)
中部地区	052-795-5088	名古屋市守山区新守町59 (日立家電新守山ビル)
関西地区	078-431-5088	神戸市東灘区甲南町1-3-8
中国地区	082-231-5088	広島市西区観音新町1-7-17
四国地区	0877-47-1088	坂出市林田町4285-143
九州・沖縄地区	092-281-5088	福岡市博多区店屋町7-18 (博多渡辺ビル)

ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 アクロポリス東京

TEL 03-3260-9611

3GBG291A0-03.8

家庭用ブースタ保証書

形名	HDB-SW33
保証期間	6ヵ月

お買い上げ日	平成 年 月 日
お 客 様	ご芳名 様
	ご住所 〒
	電話 ()

出張修理

日立家電品をお買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとずきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。

販売店	住所・店名
	電話 ()

本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
(裏面をご覧ください。)

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29 アクロポリス東京

TEL 03-3260-9611

印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。